

基礎講座ニュース

第3回 安全と健康

日時 6月26日(木)

受講者 6名 考える会 2名

◎講座内容

①安全と健康

- ・指導員は、子どもの安定した生活を保障するために、常に安全や衛生管理、事故やケガの対応など危機管理について理解しておく必要があります。
- ・令和6年度より、「安全計画」が義務化されました。子どもの安全対策・危機管理は現場で対応する指導員の責任として自覚しなければなりません。緊急時の対応では、子どもの安全の確保が何よりも優先されなければなりません。

②子どもにとってのおやつ

- ・三食で摂りきれないエネルギーや栄養素を補給する大切な食事のひとつです。ほっとする時間、休息の時間として生活の切り替えにもなります。クラブによってもスタイルに違いはありますが、なごやかな楽しい雰囲気の中で、子どもたちの姿や状況を捉える場になります。
- ・学童期の2~3%の子どもの何らかの食物アレルギーがあるとされています。アレルギーではないからと安心していても、初めて食べるものや体調によるものでアレルギーを引き起こす可能性があります。そのためにも毎日のおやつは、何を食べたかきちんと記録することが大切です。

◎受講者からの振り返りシート・感想より(一部抜粋)

- ・危険なことは全て止めるのではなく、子どもが危険と予測できることは様子を見ながら経験させることも時には必要だと学びました。また逆に子どもには予測できないような場面では大人である指導員があらかじめ対処することが大切だなと思いました。
- ・大切な事は沢山ありますが、まずは、何かあれば私（他の指導員の方々はできているので）に話せる関係を築く事から始めたいと思います。
- ・安全と健康を守るということは簡単なことではないなと思いました。安全にというのはケガをしないようにすれば良い、手当てをすればいいということではないと理解出来ました。
- ・おやつに関しても、時間になったら配膳し、食べ終わったら片付ける、流れ作業のようになっていたのではないかと思います。特定の子どもの会話をしていたり、会話が盛り上がり、食べ方やマナーをさほど良く見ることがしていなかったと思いました。
- ・おやつでは、子どもにとってただの間食ではなく、心の成長や安定にとって大切な役割を持っていることを学びました。また、おやつにただ食べるだけではなく、友達との関わりを深める大切な時間でもあり、休息をとることでまた元気に遊ぶためのエネルギー補給にもなります。

次回は、7月17日(木)に行われた、第4回の講座について、お伝えします。